

臼杵高等学校校長先生

先日、三重県の男性から本校に対してのお礼の手紙が届きました。  
みなさんに伝えたいとの思いから全校に配布いたします。  
あたたかい思いやりある行為に感謝します。

若葉が目には鮮やかな季節となりました。突然のこととは思いますが、感謝の気持ちでこの文を書いています。

私は、4月上旬、私的な旅行で四国・大分の方面にまいりました。8日（水）に、愛媛県八幡浜からフェリーに乗り、臼杵市に到着後、市内の町並みを散策しJRの駅に向かおうとしましたが、途中で道に迷い、気づいた場所が先生の学校の前でした。

そのとき、偶然にも男子高生2人が下校するときでした。2人は、見ず知らずの私に元気に挨拶をしてくれました。その元気な挨拶に勇気をもらい、道をたずねました。

「この川沿いに歩けば駅に着きますか。」

「いえ、この道では行けません。私も駅の方に用があるので一緒に行きましょう。」

その生徒は、友達と挨拶し、駅まで私を伴ってくれました。

駅までの短い時間でしたが、幾つかの話をしました。今日は放送部員として入学式の手伝いに来たこと、校長先生が挨拶を大切にされていること、などなど。

放送部員とはいえ、はきはきした受け答えと、年長の私に敬語で話しをする姿は、とてもすがすがしいものがありました。私も3年前まで小学校に勤務していましたので、小学校を卒業した子どもたちも、このような高校生になってほしいと願った次第です。

臼杵の古いたたずまいを残す町並みや児童図書館も素晴らしいものがありました。この男子生徒に会えたことが、一番の思い出になりました。校長先生の「人としての基礎的なコミュニケーションツールとしての挨拶」を大切にされた指導が、この生徒を通して理解できたと思います。

突然のたよりで驚かれたとは思いますが、同じ教職の道を歩んできた者として、このうれしい気持ち、感動する気持ちはお分かりいただけるものと考え、後先を考えず書かせていただきました。臼杵高等学校の益々の発展を祈念しまして、感謝の気持ちとさせていただきます。



<臼杵市児童図書館>

このような施設が大切に使われていることに感心しました。

三重県いなべ市在住の方より